

ピヴラッツ® 投与方法チェックシート

監修



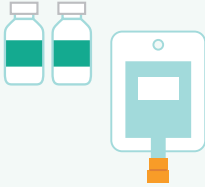
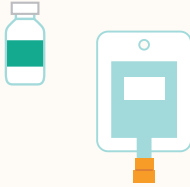
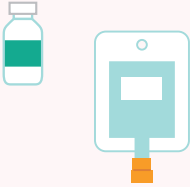
国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 薬剤部

薬剤部から病棟へのピヴラッツ®配薬の際にご利用ください。

イドルシア ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社

ピヴラツツ® 投与方法チェックシート

監修：国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 薬剤部

該当欄に✓	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
対象	成人に投与する場合	中等度の肝機能障害患者 (Child-Pugh分類クラスB) に投与する場合 	リファンピシンと併用する場合 
クラゾセentanとして	300mg(12mL) 6mLバイアル 2本  生理食塩液 500mL	150mg(6mL) 6mLバイアル 1本  生理食塩液 500mL	150mg(6mL) 6mLバイアル 1本  生理食塩液 500mL
用量	通常用量 (10mg/時) 240mg/24時間	通常の半量 (5mg/時) 120mg/24時間	通常の1/4量 (2.5mg/時) 60mg/24時間
点滴速度	17mL/時	17mL/時	8.5mL/時
投与方法	<input type="checkbox"/> 流量設定が可能な 輸液ポンプ ※を使用する。 ※容積制御方式又は滴下制御方式 ----- <input type="checkbox"/> 「 中心静脈 」又は「 末梢静脈 」からの投与とする。 ----- <input type="checkbox"/> 他の薬剤と混ざらないように、 単独で投与 する。 ----- <input type="checkbox"/> 析出を考慮し、 0.2μmフィルター を通して投与する。 ----- <input type="checkbox"/> 24時間ごと に薬剤を交換し、残液は廃棄する。		

本剤の「効能又は効果」、「禁忌を含む注意事項等情報」は製品電子添文をご参照ください。

ピヴラッツ®投与開始時・投与中・投与後の観察ポイントと対処

観察ポイント	投与開始時	投与中/投与後	対処
体液コントロール 肺水腫、胸水、脳浮腫等の体液貯留が発現することがあります。		体液量の調節に留意してください。 体液貯留の初期症状を十分に観察してください。	特に、Triple H療法又はHyperdynamic療法が併用される場合は、体液貯留リスクが増強するおそれがあるため、慎重に体液量を管理してください。
血圧モニタリング 血圧低下が起こることがあります。	血圧が適切にコントロールされている状況下で投与を開始してください。	投与中は血圧を十分にモニタリングしてください。	
ヘモグロビン値測定 ヘモグロビン低下があらわれることがあります。	本剤の投与開始前にヘモグロビン値を測定してください。	必要に応じて本剤の投与中にヘモグロビン値を測定してください。	
心電図測定 QT間隔の延長があらわれるおそれがあります。	本剤の投与開始前に心電図を測定することが望ましいです。	本剤の投与中に心電図を測定することが望ましいです。	異常が認められた場合には、適切な処置を行ってください。
臨床症状・CT撮影 頭蓋内出血があらわれることがあります。		臨床症状及びCT撮影による観察を十分に行ってください。	頭蓋内出血が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行ってください。
肝機能障害患者 血漿中濃度が上昇するおそれがあります。	肝機能検査を行ってください。		肝機能検査を行い、臨床的に顕著に肝酵素(AST、ALT)が上昇した場合、総ビリルビン値が基準値上限の2倍を超える場合、又は黄疸などの肝障害の徴候を伴う場合は、本剤の投与を中止してください。
生殖能を有する者 (妊娠可能な患者)	本剤の投与開始前に妊娠していないことを確認してください。	本剤の投与終了後一定期間は避妊するよう指導してください。	
授乳婦		治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討してください。	

文献請求先及び問い合わせ先

イドルシア DIセンター



フリーダイヤル

0120-664-553

受付時間

月～金 9:00～17:30(祝日・当社休業日を除く)

製造販売元

イドルシア ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番2号